

第4回「議会報告会&意見交換会」

焼津中央高校

生徒の皆さん

令和7年10月11日、市役所7階で、市政や市議会に関心を持っていただくため、焼津中央高校の

「中・高・大連携授業」の一環として、「議会報告会&意見交換会」を開催しました。

当日は、焼津中央高校の生徒の皆さん及び中学生と大学生の皆さんの合計21名と議員が参加しました。

第1部 議会から

まず、説明者の議員から、市役所と市議会の仕組みと役割について、説明しました。

—日本国憲法と地方自治法や市の条例に基づいていること、地方議会は、議員と首長（市長）を直接選挙で選ぶ二元代表制であり、国会の議員内閣制とは異なる仕組みであること、市役所は、様々な事業を実行する機関で、市議会は、市の仕事をチェック・評価したり、予算やルールを決め、決算を審議する機関であること—

議会の具体的な仕事については、市の提案した条例案や予算案を審査し、賛成や反対を決めること、市へ政策提言を行っていること、国や県への意見書の提出、市民の要望や意見を請願・陳情として受け付け、調査・審査して市政に反



議会について生徒の皆さんから寄せられた質問に対し、議会報告会実行委員会の委員長がお答えしました。

映していること、また、年4回の本会議や、常任委員会や特別委員会などや議員報酬についても説明して、議会のことをもっと知るためには、議会の傍聴や議会だよりを見ること、公開されている映像配信や会議録を見ることができると説明しました。

生徒の皆さんからの、本会議のない時にはどんなことをしているか、議員になるにはどうすれば良いのか、などの質問に対して、議会報告会実行委員会の委員長がお答えしました。

第2部 生徒の皆さんと議員の意見交換

次に、A B C Dの4つの班に分かれて、意見交換会を開き、「これからのまちづくり」について意見交換をしました。

A班 「地元に戻ってきたくなる街づくり」(Uターン施策、地元魅力発見等)

人と繋がるあたたかい街について、若者がくつろげたり、地域の人と交流できる学習スペースやカフェがある街、商業施設を誘致して雇用を創出してほしい。

安心安全な街については、交通網の充実、道路標識の整備、災害に備えた安心な街、LINEを使って市民に情報伝達、スクールバスの導入の意見が出されました。観光については、駅や駅前を整備で活性化しにぎやかにすること。魚だけでなく、果物・野菜など自慢できること、歴史的建造物



議会報告会の参加者の集合写真。今回の議会報告会は、市役所7階の議場及び委員会室で行われました。

の再開発で観光地化をとの意見がありました。



A班の意見交換の様子

B班 「防災」(防災訓練・教育、災害時対応・ボランティア等)

防災訓練について、多様な状況を想定した訓練の実施、避難後の生活を見据えサバイバルキャンプなど若い世代が参加できる実践的プログラムの導入、市の防災対策をSNSや学校連携など多様な手段で若い世代へ周知、水とトイレなどの備蓄を促す支援・啓発の強化、被災者への支援金・補償基準の見直しで小規模被害に対しても手厚い支援をする制度の充実について意見が出されました。



B班の意見交換の様子

C班 「文化ゆたかな街づくり」(文化教育、文化資源活用等)

文化について、参加する行動と気持ちが大事で、興味を持ってもらうイベントなどの場が多くあると良い、自分たち若者が企画運営・発信等をしてみたい。魚文化を伝えていくためには、体験型イベントの推進などトータル



C班の意見交換の様子

的に楽しめるようになること、温泉や観光も総合的にアピールして、魚文化と相乗効果を図ることが良い。

D班 「地域活性化」(観光交流、市民間交流、国際交流等)

外国人との共生について、地域のイベントに参加し、ルールを楽しみながら覚えることで地域との交流も図れ、地域の活性化にも繋がる。

商店街の活性化について、若者のニーズに合う店舗の誘致や閉店舗の貸借も考えられる。

観光客の誘致について、インバウンド需要に応える古民家や街のストーリーが必要だ。食や祭りなどアピールし、観光客が住みたくなるような活動をしていきたい。

グループごと発表

最後に、参加した生徒の皆さんから議場で各班の報告。また、終了後のアンケートにも丁寧に答えてくれました。

議員一同、これからも皆さんらのご相談やご意見をお待ちしています。



D班の意見交換の様子



班ごとに工夫を凝らした発表の様子